

## シラバス（授業概要）

2026 年度

授業科目名	航空知識 I						
学科・コース	エアライン科／グランドスタッフコース						
担当教員	中西裕子、阪本知恵						
授業形態(主)	授業形態	履修年次	履修学期	必修・選択	総時間数	単位	
講義		1	通年	必修	30	2	
授業目的 到達目標	航空業界の幅広い仕事への理解を深めながら、専門用語やレターコード、航空機・空港に関する知識と規定を実践的に身につけます。						
授業手法	・対面	○	・遠隔		・対面/遠隔		・オンデマンド
アクティブ ラーニング	事前学習型授業	○	反転授業		調査授業		フィールドワーク
	双方向アンケート		ペアワーク	○	グループワーク	○	ロールプレイ
	プレゼンテーション	○	PBL		模擬授業		その他
授業内容・ 授業計画	時間数	内容概略			わかる目標・できる目標		
	1～2	航空業界について①(DVD視聴含)			① 航空業界の仕事全般が理解できる ② 国内外主要航空会社を知り、コードを理解できる ③ 国内外主要空港を知り、コードを理解できる ④ 航空業界専門用語の基礎が分かる ⑤ ハブ空港について理解できる ⑥ 世界の航空機とメーカーについてわかる ⑦ 航空業界と安全性について理解できる ⑧ 危険物知識について理解できる		
	3～6	空港について①					
	7～8	空港について② (国内海外空港コード、航空業界専門用語)					
	9～10	航空業界について②					
	11～12	滑走路 P58-62					
	13～14	小テスト (2レター、3レター)					
	15～16	前期確認テスト					
	17～18	エアカーゴ (株) ドリームスカイ名古屋様					
	19～20	危険物の知識					
	21～22	航空機について①					
	23～24	運航の安全①					
	25～26	運航の安全②					
	27～28	航空機について②					
29～30	科目修了試験						
成績評価方法	小テスト (20%) 前期確認テスト (20%) 科目修了試験 (60%)						
使用テキスト ／教材	オリジナルテキスト・「航空知識」						
関連科目	航空知識 II						
その他	※実務経験のある教員が担当する科目である。						

## シラバス（授業概要）

2026 年度

授業科目名	グランドハンドリング概論						
学科・コース	エアライン科／グランドスタッフコース						
担当教員	望月 照夫						
授業形態(主)	授業形態	履修年次	履修学期	必修・選択	総時間数	単位	
講義	・演習	1	通年	必修	30	2	
授業目的 到達目標	グランドハンドリング業務を理解し、その分野に就業する場合の基礎知識を習得することを目標とします。						
授業手法	・対面 ○	・遠隔	・対面/遠隔	・オンデマンド			
アクティブ ラーニング	事前学習型授業 ○		反転授業		調査授業		フィールドワーク
	双方向アンケート		ペアワーク		グループワーク		ロールプレイ
	プレゼンテーション		PBL		模擬授業		その他
授業内容・ 授業計画	時間数	内容概略			わかる目標・できる目標		
	1～2	授業紹介・グランドハンドリングとは					
	3～4	空港の施設・設備			① グランドハンドリングの概要を理解できる		
	5～6	機側作業の流れ			② 空港の施設とその機能が説明できる		
	7～8	GSEの種類と機能			③ 機側作業のフローチャートを描ける		
	9～10	GSEの種類と機能・演習			④ 作業に使われるGSEと機能を説明できる		
	11～12	航空貨物と機体			⑤ ULDの区別と搭載可能な機体を理解する		
	13～14	ULDについて			⑥ ロードシートが読める		
	15～16	ULD搭載パターン			⑦ 航空貨物の特徴と種類が説明できる		
	17～18	ULD搭載とトーイング連結			⑧ 特別な貨物の種類と取扱いを理解する		
	19～20	航空貨物の種類			⑨ 取扱ラベル・危険物ラベルの知識がある		
	21～22	特別な貨物とドキュメント			⑩ 貨物の種類と必要な文書を理解できる		
	23～24	PERISHABLES・演習					
	25～26	LIVE ANIMALS・演習					
	27～28	危険品の取扱い					
29～30	科目修了試験						
成績評価方法	科目修了試験（60％）提出課題（40％）						
使用テキスト ／教材	航空機のグランドハンドリング（日本航空技術協会）、配布資料						
関連科目	航空知識Ⅱ						
その他	グランドハンドリングに興味を持ち、就職先の一つの候補となることを期待します。						

## シラバス（授業概要）

2026 年度

授業科目名	TIM基礎						
学科・コース	エアライン科／グランドスタッフコース						
担当教員	中西 裕子						
授業形態(主)	授業形態	履修年次	履修学期	必修・選択	総時間数	単位	
講義	・演習	1	後期	必修	30	2	
授業目的 到達目標	国際線の搭乗手続き時に必須である各国の旅券・査証・入国の際の規則についての英文をTIM(Travel Information Manual)を用いて読み取る基礎力を身につけることを目指します。						
授業手法	・対面 ○	・遠隔	・対面/遠隔	・オンデマンド			
アクティブ ラーニング	事前学習型授業 ○	反転授業	調査授業	フィールドワーク			
	双方向アンケート	ペアワーク ○	グループワーク ○	ロールプレイ			
	プレゼンテーション	PBL	模擬授業	その他			
授業内容・ 授業計画	時間数	内容概略			わかる目標・できる目標		
	1～2	海外渡航における旅券、査証、TIMの重要性			① TIMと渡航書類の関係性を理解できる ② パスポートとビザの役割を知る ③ ビザと電子渡航認証の違いを理解できる ④ 入国時における無査証での滞在可能期限を計算することができる ⑤ 入国時における旅券の必要残存期限を計算することができる ⑥ TIMATICの独特の文面に慣れ、重要な箇所を判断することができる ⑦ あらゆる旅程からTIMATICを見て搭乗手続の可否を判断できる ⑧ TIMATICの応用文に対応できる		
	3～4	電子渡航認証、シェンゲン協定について					
	5～6	日本国籍：シンガポール行きTIM読解					
	7～8	日本国籍：台湾行きTIM読解					
	9～10	日本国籍：中国行きTIM読解					
	11～12	日本国籍：韓国行きTIM読解					
	13～16	TIM読取り練習					
	17～18	無査証滞在可能期限の計算					
	19～20	小テスト					
	21～24	TIM読取り応用					
	25～28	総復習					
	29～30	科目修了試験					
成績評価方法	科目修了試験（70％）小テスト（30％）						
使用テキスト ／教材	教員作成冊子						
関連科目	TIM応用						
その他	電子辞書、電卓を持参すること。 ※実務経験がある教員が担当する科目である。						

## シラバス（授業概要）

2026 年度

授業科目名	エアライン筆記対策						
学科・コース	エアライン科／グランドスタッフコース						
担当教員	山崎 弘						
授業形態(主)	授業形態	履修年次	履修学期	必修・選択	総時間数	単位	
講義	・演習	1	通年	必修	60	4	
授業目的 到達目標	航空業界における業務遂行でのビジネス的な判断を要する場において、数値的な理論を用いた合理的な判断ができること、また、採用時に評価される論的思考力を養うことを目的とし、総合的な問題解決ができることを目標とする						
授業手法	・対面 ○	・遠隔	・対面/遠隔	・オンデマンド			
アクティブ ラーニング	事前学習型授業 ○		反転授業		調査授業		フィールドワーク
	双方向アンケート		ペアワーク ○		グループワーク ○		ロールプレイ
	プレゼンテーション		PBL		模擬授業		その他
授業内容・ 授業計画	時間数	内容概略			わかる目標・できる目標		
	1～2	数式基礎の理解と確認					
	3～6	代数の利用と応用			① 数式の基礎ルールが理解できる		
	7～10	計量単位の変換と活用			② 代数の活用ができる		
	11～14	割合・比・対数の理解、数式の理論的な活用			③ 比と割合の概念を数式化できる		
	15～18	推論			④ 単純な理論を積み上げて結論を出せる		
	19～22	資料の読み取り			⑤ 必要な情報を抽出し解答を導き出だせる		
	23～26	集合			⑥ ベン図の活用と応用から新たな情報を得られる		
	27～32	順列と組み合わせ			⑦ 物事のパターンを順列と組合せに区別できる		
	33～36	確率			⑧ 順列と組み合わせの違いを理解する		
	37～40	収益及び損益			⑨ 余事象と順列・組合せによる確率が理解できる		
	41～44	仕事算・物の流れ、総合演習			⑩ 仕入れ～利潤までの数字を追うことができる		
	45～58	ランダムな出題演習			⑪ 全体を1とする割合の概念を理解する		
	59～60	科目修了試験			⑫ 数式を総合的に組み合わせて問題解決できる		
成績評価方法	筆記式の科目修了試験と授業理解度評価の小テストおよび授業への参加態度を評価する 科目修了試験（60％）小テスト（20％）平常評価（20％）						
使用テキスト ／教材	講師作成プリント、「これが本当のSPI」講談社						
関連科目	GSキャリアデザイン						
その他							

## シラバス（授業概要）

2026 年度

授業科目名	エアライン英語 I						
学科・コース	エアライン科／グランドスタッフコース						
担当教員	松永 清美・関根 由美子						
授業形態(主)	授業形態	履修年次	履修学期	必修・選択	総時間数	単位	
講義	・演習	1	通年	必修	30	2	
授業目的 到達目標	エアライン採用試験に必要な英語基礎力を身につけ、TOEIC550点相当の英語力の習得を目指します。						
授業手法	・対面 <input type="radio"/>	・遠隔 <input type="checkbox"/>	・対面/遠隔 <input type="checkbox"/>	・オンデマンド <input type="checkbox"/>			
アクティブ ラーニング	事前学習型授業 <input type="radio"/>		反転授業 <input type="checkbox"/>		調査授業 <input type="checkbox"/>		フィールドワーク <input type="checkbox"/>
	双方向アンケート <input type="checkbox"/>		ペアワーク <input type="radio"/>		グループワーク <input type="radio"/>		ロールプレイ <input type="radio"/>
	プレゼンテーション <input type="checkbox"/>		PBL <input type="checkbox"/>		模擬授業 <input type="checkbox"/>		その他 <input type="checkbox"/>
授業 内容・ 授業 計画	時間数	内容概略			わかる目標・できる目標		
	1～2	授業説明、各パート毎の解説					
	3～4	ミニ模試（解答・解説）			①TOEIC TESTについて理解する		
	5～10	TOEIC TEST Part1・2・5説明と問題演習			②各自の強みと課題となるパートを明確にする		
	11～26	TOEIC TEST Part3・4・6・7説明と問題演習			③目標スコアの設定と取り組み方針の確認		
	27～28	科目修了試験			④単語力強化によるリーディング力強化		
	29～30	総復習			⑤英語耳をつくり、リスニング力を強化		
					⑥英語の音声に近い発音を習得する		
					⑦実際に使えるフレーズや単語を身に付ける		
成績評価方法	平常点（50％）授業内小テスト・科目修了試験（50％）						
使用テキスト ／教材	SCORE BOOSTER FOR THE TOEIC L&R TEST BIGINNER はじめてのTOEIC L&Rテスト ハーフ模試3回分 キクタンTOEIC L&RテストSCORE500・POSITIVE STEPS TO THE TOEIC L&R TEST ミニ模試トリプル10 TOEIC L&Rテスト						
関連科目	エアライン英語 II						
その他	レベルに応じて2クラス編成。電子辞書または英和辞典を持参すること。						

## シラバス（授業概要）

2026 年度

授業科目名	手話演習 I						
学科・コース	エアライン科／グランドスタッフコース						
担当教員	大川 香織						
授業形態(主)	授業形態	履修年次	履修学期	必修・選択	総時間数	単位	
演習	・講義	1	通年	必修	60	2	
授業目的 到達目標	基本的な手話会話を習得することを目指します。 聴覚障害者の暮らしについて理解することを目指します。						
授業手法	・対面 <input type="checkbox"/>	・遠隔 <input type="checkbox"/>	・対面/遠隔 <input type="checkbox"/>	・オンデマンド <input type="checkbox"/>			
アクティブ ラーニング	事前学習型授業 <input type="checkbox"/>	反転授業 <input type="checkbox"/>	調査授業 <input type="checkbox"/>	フィールドワーク <input type="checkbox"/>			
	双方向アンケート <input type="checkbox"/>	ペアワーク <input type="checkbox"/>	グループワーク <input type="checkbox"/>	ロールプレイ <input type="checkbox"/>			
	プレゼンテーション <input type="checkbox"/>	PBL <input type="checkbox"/>	模擬授業 <input type="checkbox"/>	その他 <input type="checkbox"/>			
授業 内容・ 授業 計画	時間数	内容概略			わかる目標・できる目標		
	1～2	講義①聴覚障害者の基礎知識			① 基本的な会話を覚える ② 表情を豊かに表す ③ 声を出さずに手話を表す ④ 手話は言語であることを知る ⑤ 聴覚障害について理解する ⑥ 全国手話検定4級レベルの技術を身につける ⑦ ゲスト講師との会話練習を学ぶ ⑧ 指文字、4級単語を覚える ⑨ 動画、ホームワークを予習する ⑩ 伝える努力をする		
	3～20	第1講座～第9講座					
	21～22	講義②ことばのしくみ					
	23～24	第10講座まとめ2 自己紹介 ゲスト講師					
	25～42	第11講座～第19講座 小テスト					
	43～46	講義③聴覚障害者の生活					
	47～48	第20講座（小テスト）					
	49～54	検定対策 ゲスト講師					
	55～56	検定対策 科目修了試験					
	57～60	検定対策					
成績評価方法	科目修了試験（40％）平常点（20％）小テスト（40％）						
使用テキスト ／教材	手話奉仕員養成テキスト「手話を学ぼう 手話で話そう」 手話奉仕員養成のための講義テキスト（発行：社会福祉法人 全国手話研修センター） 講師作成プリント						
関連科目	手話演習Ⅱ、ユニバーサルサービス						
その他	動画を視聴してくること。※実務経験のある教員が担当する科目である。						

## シラバス（授業概要）

2026 年度

授業科目名	GS面接						
学科・コース	エアライン科／グランドスタッフコース						
担当教員	中西 裕子						
授業形態(主)	授業形態	履修年次	履修学期	必修・選択	総時間数	単位	
実技		1	通年	必修	30	1	
授業目的 到達目標	航空業界の面接試験の対応力を対面・オンラインの両面から習得することを目標とします。姿勢や発声、第一印象等に繋がるアピランスも強化し、自分の出した回答からの質問にも答えられる瞬時の判断力と会話の引き出しを増やすことを目指します。						
授業手法	・対面	・遠隔	・対面/遠隔	・オンデマンド			
アクティブ ラーニング	事前学習型授業		反転授業		調査授業		フィールドワーク
	双方向アンケート		ペアワーク	○	グループワーク	○	ロールプレイ
	プレゼンテーション		PBL	○	模擬授業		その他
授業内容・ 授業計画	時間数	内容概略			わかる目標・できる目標		
	1～2	面接の基本マナー①（身だしなみ・姿勢・発声・表情）			①自己について知る ②面接基本動作ができる ③WEB面接の心得を知る ④印象の良い聴講姿勢を保つことができる ⑤回答の引き出しをビルドアップできる ⑥協調性をもって取り組むことができる ⑦将来のビジョンを答えることができる ⑧自分の回答に責任を持って答えることができる ⑨突発的な質問に対して時系列を守り自分の言葉で落ち着いて回答できる		
	3～4	面接の基本マナー②（入室・退室、名乗り、お辞儀）					
	5～6	自己分析①、自己紹介					
	7～8	WEB面接対応術					
	9～10	自己分析②					
	11～12	自己PR					
	13～14	面接の基本的な質問					
	15～16	グループ模擬面接					
	17～18	グループディスカッション					
	19～22	企業研究					
	23～24	志望動機					
	25～28	企業別過去出題質問による面接					
	29～30	科目修了試験（個人模擬面接）					
成績評価方法	グループ模擬面接（40%）提出物（10%）取組み姿勢（10%） 科目修了試験（個人模擬面接）（40%）						
使用テキスト ／教材	面接対応テキスト（オリジナル）、教員作成プリント						
関連科目	GSキャリアデザイン						
その他	身だしなみを整え、緊張感をもって授業に臨むこと。制服着用のこと。						

## シラバス（授業概要）

2026 年度

授業科目名	航空予約システム演習 I						
学科・コース	エアライン科/グランドスタッフコース						
担当教員	中西 裕子						
授業形態(主)	授業形態	履修年次	履修学期	必修・選択	総時間数	単位	
実技		1	通年	必修	60	2	
授業目的 到達目標	国際線の航空予約システムamadeusの操作習得を目標とします。空港・航空会社コード等の基本的な検索から、フライト情報や空席照会を学ぶことで、基本的な予約を作成するスキルを習得することを目指します。						
授業手法	・対面 ○	・遠隔	・対面/遠隔	・オンデマンド			
アクティブ ラーニング	事前学習型授業		反転授業		調査授業		フィールドワーク
	双方向アンケート		ペアワーク	○	グループワーク		ロールプレイ
	プレゼンテーション		PBL		模擬授業		その他
授業 内容 ・ 授業 計画	時間数	内容概略			わかる目標・できる目標		
	1~2	Amadeus Selling Platformの起動と終了コマンド			①アマデウスシステムの使い方を知る ②ヘボン式ローマ字を覚え入力できる ③情報の検索の種類を覚え、クイックガイドから探せる ④タイムテーブルを検索し読み取ることができる ⑤フライトスケジュールを検索し読み取ることができる ⑥空席照会をし読み取ることができる ⑦空席照会から基本的な予約ができる ⑧ダイレクアクセスが理解できる ⑨PNRを読み取ることができる ⑩基本的なPNRを作成できる		
	3~6	ヘボン式つづり					
	7~16	情報の検索・照会					
	17~24	空港コード、航空会社コード					
	25~28	タイムテーブル、フライトスケジュール					
	29~32	空席照会、基本予約					
	33~36	前期確認テスト					
	37~44	フライトの予約					
	45~48	フライトの予約（乗継便）					
	49~58	PNR（Passenger Name Record）の作成					
	59~60	科目修了試験					
成績評価方法	前期確認テスト（30%）科目修了試験（70%）						
使用テキスト ／教材	ユーザーガイド予約・アマデウス予約クイックガイド（amadeus発行）、教員作成プリント						
関連科目	航空予約システム演習 II						
その他	空港コード、航空会社コード等、オペレーションに必要なコードは必ず覚えていくこと。 ※実務経験のある教員が担当する科目である。						

## シラバス（授業概要）

2026 年度

授業科目名	旅客実習 I						
学科・コース	エアライン科/グランドスタッフコース						
担当教員	中西 裕子						
授業形態(主)	授業形態	履修年次	履修学期	必修・選択	総時間数	単位	
実技		1	通年	必修	60	2	
授業目的 到達目標	グランドスタッフに必要な業務知識の基礎と基本的な接客スキルやホスピタリティを身に付けることを目標とします。実践に結びつくロールプレイを通して、業務への理解をさらに深め、将来グランドスタッフとして活躍できることを目指します。また、16時間は（株）ドリームスカイ名古屋との連携授業です。						
授業手法	・対面 <input type="radio"/>	・遠隔 <input type="checkbox"/>	・対面/遠隔 <input type="checkbox"/>	・オンデマンド <input type="checkbox"/>			
アクティブ ラーニング	事前学習型授業		反転授業		調査授業		フィールドワーク
	双方向アンケート		ペアワーク	<input type="radio"/>	グループワーク	<input type="radio"/>	ロールプレイ
	プレゼンテーション		PBL		模擬授業		その他
授業 内容 ・ 授業 計画	時間数	内容概略			わかる目標・できる目標		
	1～4	空港支援業務とは。グランドスタッフ業務の概要、必要なスキル・資質・アピアランス					
	5～8	カウンター業務基礎知識（各種コード・搭乗手続き）			①空港の業務を知ることができる		
	9～14	国内線搭乗手続きロールプレイングテスト、搭乗手続き案内アナウンス			②航空業界の各コードを理解することができる		
	15～20	手荷物、バゲージクレームタグ・リミテッドリリース			③日本語・英語で搭乗手続きができる		
	21～24	搭乗口業務基礎知識（出発・NOSH）、制限旅客			④危険物を理解して手荷物預かりの案内ができる		
	25～28	6月4日：第1回（株）ドリームスカイ名古屋連携授業			⑤伝わるアナウンスができる（日本語・英語）		
	29～32	6月18日：空港研修（株）ドリームスカイ名古屋連携授業			⑥可搬での正しい伝え方ができる		
	33～36	前期確認テスト			⑦あらゆる種類の手荷物タグの役割を理解できる		
	37～40	9月11日：第2回（株）ドリームスカイ名古屋連携授業			⑧搭乗口での一連の業務を理解できる		
	41～44	国際線基礎知識（渡航書類）、LL業務、危険物			⑨国際線、渡航書類についての知識を得る		
	45～48	10月8日：第3回（株）ドリームスカイ名古屋連携授業			⑩おもてなしの心を理解できる		
	49～58	国際線チェックインロールプレイングテスト（英語）、他コース連携授業					
	59～60	科目修了試験					
成績評価方法	ロールプレイテスト（日本語・英語）（30%）前期確認テスト（30%） 連携企業評価（10%）科目修了試験（30%）						
使用テキスト ／教材	オリジナルテキスト・「旅客実習テキスト」、教員作成プリント						
関連科目	旅客実習Ⅱ、GS接客中国語						
その他	アピアランスを整えて授業に参加すること。制服・スカーフ着用のこと。 ※実務経験のある教員が担当する科目である。						